

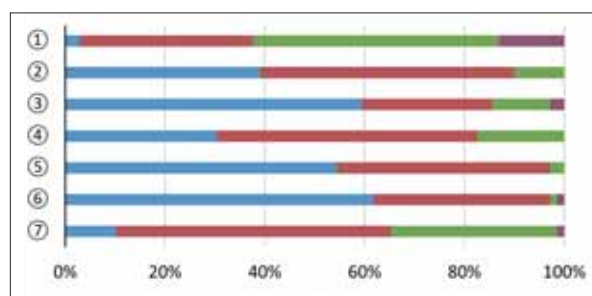
授業改善のためのアンケートの実施結果について

キャリア形成科目の授業改善のため、右の表に示す授業の履修者名について、アンケートを実施した。
(回答者数69名)

年度	学期	授 業 名
H28	後	現代社会を支える企業
H29	前	キャリア形成論
		社会の多様な働き方
	後	キャリア形成論
		ライフコース論（人生設計と生活保障）
		プロジェクト型インターンシップ

■ 非常に重要 ■ ある程度重要
■ あまり重要でない ■ 全く重要でない

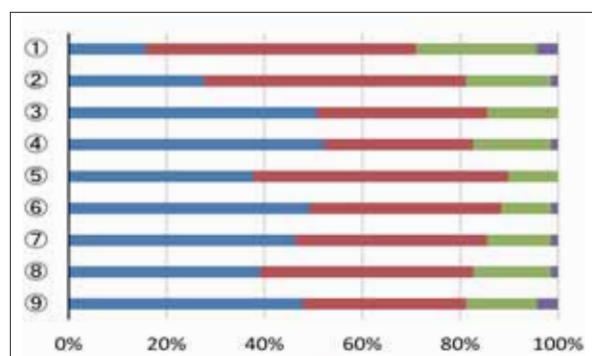
質問A. キャリア形成に関する科目ではどのような授業形態が重要であると思いますか？



多人数（31人以上）の授業
少人数（30名まで）の授業
企業や団体でのインターンシップを盛り込む
OB・OGを講師として招く
産業界や企業から講師を招く
グループ学習やプレゼンテーション、ディスカッション等を通した
学生参加型の授業
教員から学生へ知識を伝える単方向の授業

質問Aからキャリア形成に関する科目では、総じて多人数より少人数の授業が重要であり、かつ「学生参加型」、「企業や団体でのインターンシップ」、「産業界や企業から講師を招く」といった、学生同士や企業や団体との、そして現場で活躍する人との「対面型」の授業が重要である、との結果が出た。

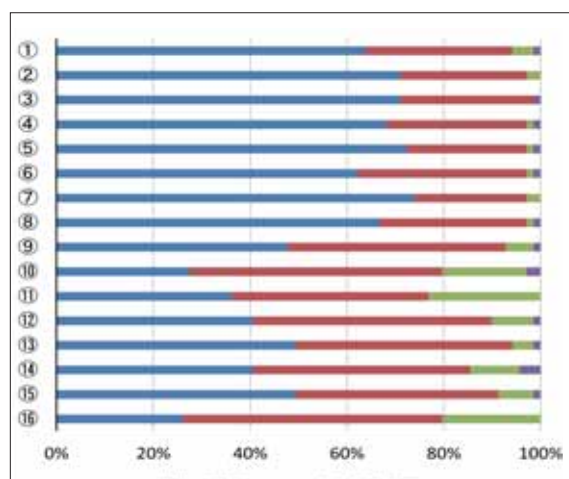
質問B. キャリア形成に関する科目ではどのような授業内容が重要であると思いますか？



キャリア形成理論など基礎学習
OB・OGの体験紹介
職業見学・現場実習などの就業体験
業界・企業についての情報・知識
将来の仕事に役立つ知識・技術
進路選択の考え方・方法
自己の個性・適性の判断
学ぶこと・働く事の意義
将来の生き方・人生設計

質問Bから「自己の個性・適性の判断」や「将来の生き方・人生設計」が非常に重要とされる割合が高いが、先の「重要とされる授業形態」に準えてみると、様々な「対面」の中から自身の個性や適性、そして将来を考えていきたい、という履修者のニーズが浮かび上がる。

質問C. キャリア形成に関する科目ではどのような力が身につくことが重要であると思いますか？



論理的思考力（物事の一つの対象について論理立てて考えることができる）
創造的思考力（複数の考えを組み合わせることができ新しい発想を生み出すことができる）
課題発見力（自ら現状分析し、目的や課題を明らかにできる）
状況把握力（自分と周囲の関係性を理解し、その場の状況が把握できる）
発信力（客観的なデータを用いて自分の意見をわかりやすく伝えることができる）
傾聴力（相手の意見を理解しながら聞くことができる）

実行力（目的を設定し他者と協同して実行することができる）
計画力（課題解決のプロセスを理解した上で課題の解決に向けた計画が立案できる）
社会に対する見方・考え方
友人関係の構築
人脈の構築
自分の専門と職業実践を結びつける力
自分に適した業界を選ぶ力
社会で働く意義の理解
社会で働く上での具体的知識・能力
業界・企業に関する具体的知識

質問Cから、授業を履修する学生は、授業を通じて上記のような力を身につけることが重要だと考えている。授業の形態と内容を通じてこうした力の育成に取り組んでいきたい。
(文責：教育推進・学生支援機構 特任助教 白村直也)